



愛知県議会議員（岡崎市・幸田町） 県政報告

しんかい正春

～「現地現物」そして「安全は全てに優先」～

令和3年12月 VOL.14
発行 しんかい正春事務所
〒444-0837
岡崎市柱6丁目5-5
TEL・FAX 0564-58-0128

油断せずに「感染対策の徹底継続」を！

— 難局を乗り越えて、地域課題に取り組む —

11月22日、大村知事は、愛知県内で確認された1日あたりの新型コロナウイルスの新規感染者は1週間平均で6人と第5波は収束しつつあり警戒領域での新たな対策を進め、何とか社会経済活動を回していかなければならないと発言されましたが、新たな変異株である「オミクロン」の感染が日本を含め60を超える国と地域で確認され、世界的な感染拡大が懸念される中、国は3回目のワクチン接種（ブースター接種）や緊急避難的な水際措置強化などの対策を進めています。

このような状況下では、皆様一人ひとりが、「マスクの着用」「人と人との距離の確保」「3密の回避」「手指の消毒」「換気」など基本的な感染予防等に心掛けていただくことが何よりも大切です。感染再拡大を回避するために、基本的な感染防止行動の実践をお願いいたします。

これまでに未報告でありました議案結果など掲載した県政報告をお届けいたします。ご高覧いただき議会活動に対する理解と関心を深められ、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。いよいよ冬本番です。何かと気忙しい時期かと存じますが体調を崩さぬよう、どうぞご自愛ください。



愛知県議会議員 新海正春

令和3年7月・8月臨時議会の報告

愛知県議会では7月12日、8月10日及び8月31日に臨時議会が開かれましたので、その概要をお知らせします。7月12日の臨時議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、愛知県厳重警戒措置の期間中、営業時間の短縮要請に応じた飲食店に対して愛知県感染防止対策協力金を交付するための補正予算の議案についての審議が行われました。また8月10日の臨時議会では、まん延防止等重点措置の期間中、営業時間の短縮要請に応じた飲食店及び大規模施設等に対して愛知県感染防止対策協力金を交付するための補正予算等の議案について審議が行われました。さらに8月31日の臨時議会では、緊急事態措置等の期間中における営業時間の短縮要請に応じた飲食店及びカラオケ店に対する愛知県感染防止対策協力金の交付や若者への新型コロナワクチン接種を促進するためなどの補正予算の議案について審議が行われました。開催された各臨時議会では、すべての議案が慎重に審査された後、本会議において採決が行われ可決又は承認されました。



飲食店をご利用される皆様へ
感染症防止対策に
ご協力お願いいたします。

私たち SKE48 が PR しています！
ここから感染防止対策の動画も見てね！



[質問1] 交通安全について

①都市計画道路「豊田西尾線」の取組状況 ②「須美福岡線バイパス」の整備状況

[質問2] 地域の活性化に資する道路整備について

岡崎駅周辺整備地区内の「県道福岡線」の取組状況と今後の予定



[回答1] (建設局長)

①「豊田西尾線」は、2019年に懸案となっていた2つの踏切の廃止について、踏切を統廃合することで関係地区と合意し、JR東海と具体的な交差構造を決定していくための協議を開始した。これを受け昨年度に地元への説明を行いつつ、バイパス全線の現地測量やJR東海道本線との立体交差部の橋梁予備設計に着手している。②「須美福岡線バイパス」は2011年度より事業を実施しているが、一級河川広田川の改修に必要となる新たな橋を含む南側約1.4キロメートルを先行整備区間と位置付けている。これまでにこの区間の用地取得はすべて完了し、広田川に架かる2径間の橋梁工事も橋台と橋脚の工事が6月までに完了している。橋梁上部工事もすでに発注しており、来年度の開通に向け工事を進めていく。この区間の北側約0.6キロメートル区間については、道路設計を実施し公安との協議が完了している。今後は、用地測量に向け地元調整を進めるなど事業進捗を図ってまいりたい。



▲(都)福岡線 街路事業区間

[回答2] (交通局長)

「県道福岡線」は事業区間約3.1キロメートルのうち区画整理事業区域の中央部分から北側約1.9キロメートルは供用済みである。南側1.2キロメートルについては、沿道の開発状況に応じた道路の整備や事業用地の確保を進めている。2024年度の供用開始をめざし、岡崎市のにぎわいのあるまちづくりや西三河の活性化に大きな役割を果たす都市計画道路福岡線の整備にしっかりと取り組んでまいりたい。



▲区画整理区域内



【質問3】 災害時の応援協定について

どのような取り組みを行っているか。

【質問4】 認知症施策について

- ①認知症について今後県民の理解を深めるための取組みは。
- ②認知症カフェの現状と課題、今後の取組みは。

【回答3】 (防災安全局長)

本県では災害時に発生する様々な災害応急対策業務を迅速に実施するため、民間企業や団体等と災害時における応援協定の締結を進めている。今年度は災害時の重要な停電対策として、三菱自動車等と「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結し、災害時に避難所や小規模な施設での電気製品への給電ができるプラグインハイブリッド車両を無償貸与してもらえようとする停電対策の充実強化を図っている。協定に基づく応援が確実に実



施されるためには、県、協定締結事業者や協定締結事業者相互の連携が極めて重要であり、県が行う防災訓練への参加を通じて、相互理解の促進と連携の強化に努めている。具体的にはLPガス協会による避難所での炊き出しに必要なプロパンガスの供給訓練、必要な物資が確実に避難所に行き渡るよう、県トラック協会、物流事業者等が連携して、広域物資輸送拠点の実施訓練に取り組んでおり、その結果を検証し運用方法の改善を図っている。さらに毎年、連絡会を開催し、過去の課題への対応状況や応急対策を実施するうえで必要な情報提供や意見交換を行っている。

【回答4】 (大村知事・福祉局長)

今年7月に認知症になっても希望をもって暮らしている姿をご本人自らが発信する「愛知県認知症希望大使」をお二人に委嘱し、「認知症県民フォーラム」のパネリストとして、ご自身の体験や希望についてお話をいただいた。今後も認知症への理解促進を図り「認知症に理解の深いまちづくり」に向けしっかりと取り組んでいく。

—コロナ禍における認知症カフェの現状と課題、先進的な取組事例等を把握するため、県内506カ所の認知症カフェすべてを対象に実態調査を行い、320ヶ所から回答をいただいた。回答のあったカフェの約3割の92ヶ所が調査時点で活動中であった。このうち約2割が開催時間の短縮、参加者が減少したところは約7割と活動の縮小・小規模化が見受けられ、認知症カフェの活動をどのように維持していくかが課題となっている。一方、これまで通りの開催が難しい場合でも交流が維持できるよう、オンラインツールの活用や屋外での活動、定期的な電話連絡や手紙の送付など様々な工夫をしながら取り組んでいる事例も報告されている。

調査結果で明らかになった課題を踏まえ、年内に開催を予定している「認知症カフェサミット」において、市町村や認知症カフェ運営者の皆様と先進事例を共有するなどにより、新しい生活様式に対応した認知症カフェの取組を県内全域に広めてまいりたい。コロナ禍においても認知症カフェにおける交流の推進が広く図られるようにしっかりと取り組んでまいりたい。



困りごと 改善 しました !!



要望 宮崎学区から「大代町地内の県道 332 号と 334 号は、地区住民の重要な生活道路である。そのうち①豊川市萩町地内の雑草の繁茂による視界不良・道路幅員の狭隘化、②豊川市千両町の道路側溝の土砂堆積によって降雨時に冠水するなど、道路環境の悪化に起因する交通事故の発生など、大変困っているので何とかして欲しい。」との要望をいただきました。

行動 さっそく、地元総代と一緒に現地調査を行い、要望箇所の現況と位置を確認し、県道路維持課へ詳細説明と早急な対応をお願いしました。後日、連絡を受け除草作業及び排水施設整備工事が施工されたことを現地で確認しました。あわせて民地所有者の方にも竹藪伐採にご協力をいただきました。



① 除草前

① 除草後



② 側溝の土砂除却など排水施設の整備工事及び除草

要望中！ 西三河建設事務所管内の要望箇所と内容

1 河川の護岸改修

- ① 安藤川の次郎兵衛橋下流（岡崎市中島町）、② 相見川（幸田町坂崎）

2 河川の堆積土砂撤去

- ① 1 級河川広田川（幸田町上六栗）、② 2 級河川捨石川（幸田町深溝）

3 県道の舗装修繕 熊味線（岡崎市土井町、岡崎市下三ツ木町）

4 県道岡崎刈谷線羽根ガード東交差点（シビックセンター北西）の交差点改良

5 その他 主要道路や河川等の除草作業等の実施

自転車乗車用ヘルメットの着用促進のため、7 歳以上 18 歳以下の児童生徒や 65 歳以上の高齢者がヘルメットを購入する場合に、その費用の一部（2 千円上限）を助成する補助制度がありますのでご利用ください。



公式ホームページ shinkaimasaharu.com

◆「しんかい正春事務所」

E-mail: m-shinkai@mics.ne.jp

TEL/FAX 0564-58-0128

聞かせてください
ご意見・ご要望

